

高 勿 来 同 窓 会 報

第 50 号
発 行 者
勿 来 高 等 学 校
同 窓 会
いわき市勿来町
窪田町通 2 の 1
県立勿来高等
学 校 内

改姓・勤務先・住所
変更は速やかに事務
局までご連絡下さい。

TEL (0246)
65 - 2221



卒業生のみなさんへ

同窓会会長 金 成 武 夫

晴れて卒業を迎えられた皆さんに、心からお祝いを申し上げます。
ふりかえれば、皆さんが入学したのは、平成二十三年三月十一日の東日本大震災の年です。一生忘れる事のできない出来事ではないでしょうか。

この三年間で先生、先輩、同級生、後輩、家族との強い絆で結ばれ、東日本大震災と共に過ごしたのではないのでしょうか。そして、ひとまわりも、ふたまわりも大きくなつた事と思います。しかし、東日本大震災や福島第一原子力発電所の放射能事故から三

年が経過しようとしておりますが、政府が押し進める各施策も徐々に進展しているものの、依然として多くの方々が避難を余儀なくされ、将来の展望も開けない状況が続いております。

こんな時代だからこそ、皆さんの若い力が必要とされています。卒業生として、社会で採まれない自分自身を見失う事なく、自分の居場所を確保し、謙虚な態度と努力する姿勢が大事です。さまざまな困難に

耐えて、物事をやり抜く忍耐力を身につけ、何事にも知恵を出し、自分の信じた道を力強く歩んでほしいと思います。
そして世の中から必要とされる人間になってください。
時の流れを感じさせながら、この伝統ある勿来高校の卒業生として、一生懸命頑張る事が更なる母校の発展につながり、さらに創立七十周年に繋がっていくものと確信しております。

新しい門出に当り、皆さんの輝かしい前途を心から祝福いたしますとともに、母校のますますのご発展をお祈り申し上げます。



昨年十一月、私が三十代に勤務した富岡高校の同窓会に招かれました。原発事故後、それぞれの避難先がわからないうち、電話やSNSなどを使い苦労して連絡を取り合ったそう、学年の約半数がいわき市での会合に集いました。卒業後初めての同窓会だったこともあり、首都圏や仙台などから駆けつけた人もいました。十数年ぶりの再会を喜び合うとともに、仕事や家庭のこと、震災後の苦労など互いの近況を語り合う輪の中に、私も加わりました。立派に成長した姿の中に当時の面影も垣間見えて、何とも微笑ましく、そして頼もしくもありました。

それより一カ月ほど前には、四十代に勤務した双葉



心のよりどころ

校長 大 沼 博 文

高校の創立九十周年記念式典に出席しました。同窓会長が挨拶の中で「百周年に向けて本校の伝統を灯し続けよう」と述べておられました。しかし、同校をはじめ双葉郡内にあった五校のサテライトは、

業後の心のよりどころです。同じ学校に、しかも同じ時期に学んだ者であればこそ思いは、時が過ぎれば過ぎるほど強くなっていきます。若い頃には、学校、恩師、同級生のことを思い出すことは多く

窓生に会ったりすれば、その懐かしさが一層こみ上げてくる。「同窓」とは、まさにそういうものなのです。
本校が創立五十周年を祝った平成九年には、普通科五学級、商業科一学級の募集定員

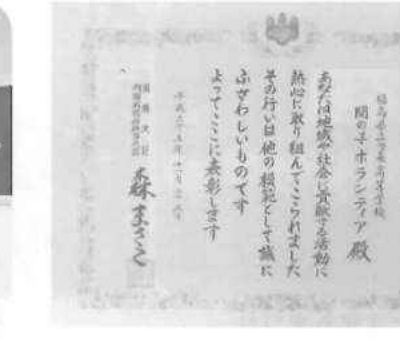
広野町に新たな高校を開校後休校とする県の方針が昨年末示されました。大半の地域住民が帰還できない状況である以上やむを得ない措置とはいえ、各校の同窓生にとっては断腸の思いであります。卒業生と同窓会の存在は、卒

ないかもしれません。年齢を重ねることに思いついてくるものです。特に、多感な時代を共に過ごした高校三年間の仲間がもっとも思い出深いものとなり、一生の付き合いが長く友も少なくないはずで

二四〇名だったのが、六十周年の平成十九年には普通科のみ四学級の一六〇名となりました。そして、平成二十三年度には二学級八〇名の定員となり、この年の入学生が本日より卒業を迎え、同窓生として新たに集ってまいります。



「地域住民が運営する民間交番「関の子広場」とともに、震災後、福島県の海水浴場において一昨年唯一オープンした勿来海水浴場や駅前等の清掃活動に継続的に取り組むほか、警察や関係団体と連携して、防犯活動や交通安全活動など様々なボランティア活動に積極的に取り組み、安全安心なまちづくりに貢献している。(内閣府HPより)



内閣府特命担当大臣 「社会貢献青少年表彰」

今年度「勿来高校関の子ボランティア」が、内閣府より社会貢献青少年表彰を頂くことができました。表彰式は平成二十五年十一月二十五日(月)に国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて催され、代表として、前生徒会長の佐川竜一君(三年)と教頭が出席しました。佐川君が壇上で岡田広内閣府副大臣より表彰状の授与を受けました。佐川君は、式に出席した感想として「今までの活動を認めてもらえて嬉しかったです。沢山の人の前で賞を頂いたのが緊張しましたが、他の受賞者に負けないようにハッキリとした返事をすることができました。」と述べています。

内閣府では、公共の生活又は地域社会に貢献する活動を行い、顕著な功績があった個人又は団体を表彰しており、平成二十五年年度に受賞した団体は全国で十一件(本校含む)でした。



同窓人脈 (第十七回)

後藤基宗子さんの巻

(昭和三十八年三月卒)

あなたの手 わたしの手
勇気を出してはじめてよう
さりげなく みんなで
支えあいながら
優しい心を届けよう
優しい心のボランティア

この詞は福島県の「ボランティアの歌」の一番です。
平成十三年福島県で「ボランティアの歌」を公募し私の詞が採用され今も歌い続けられております。

当時はまさか福島県がこのような震災・原発事故と大変なことになり全国のボランティアの皆さんのお世話になるとは微塵も考えておりませんでした。

昨年、卒業後初めて勿来高校の同窓会に出席した折、大沼校長より勿来高校の皆さんがボランティア活動に力を注いでいることをお聞きし、すばらしい賞をいただいたこともお聞きし本当にうれしく思いました。
私は高校入学してすぐに父が亡くなり、高校時代は、親元を離れ兄や他人様の家の世話になって高校に通わせていただきました。

学校から帰るとお世話になつて家の守りや勉強を教え、家事の手伝いと色々な仕事が行っていました。
それまで会津の田舎でのんびり生活していましたが、環境に適応出来ず「落ちこぼれ感・喪失感」が強く、毎日が緊張の日々で途方に暮れることもしばしばでした。が、そんな私を支えてくれたのは担任の横山元雄先生でした。希望の原点は耐えることと言いますが適応性に欠け体力のない私がその後、看護師になり、小中学校の養護教諭になり定年まで勤められたのもこの勿来での経験と何より横

山先生がおいでだったからです。

又、書くと言う趣味にも助けられました。色々な賞に恵まれ「子供の詩の教室」の講師に招かれ、学校勤務の傍らこちらでも長く勤めました。

退職後の現在は、自由大学の講師をしております。
又、大学は五校も入っておりませんが、卒業は一校もしておりません。夏期・冬期講習として通信教育で教職に必要な単位を取得しました。

これを私流には「チョイス大学」と言つて、講演や講座でこのことを話すと皆さんがとても喜んでくれます。

又、日本の宇宙開発の父と言われる糸川英夫氏も「誰かの役に立てないか」ということが、人類の原点であり、これがなくなつたら人類は全くバラバラになってしまう」と申しております。同感です。

多くの皆さんの支えの元にあるの自分がありますので、私も今一番大切にしているのはボランティア活動です。

所属団体
日本ペンクラブ・日本現代詩人会・日本詩人クラブ・日本童謡協会・他

所属誌誌
「漪」「青の花」

受賞歴
第十回ふるさと音楽賞
第三回石川啄木賞
第八回北東文芸賞
第八回愛の歌茨城県知事賞
他二十五受賞
出版詩集

- 1 「〇」
- 2 「三月は奇妙な月」
- 3 「こわれた輪のように」
- 4 「風とあくしゅ」
- 5 「かわらなでしこ」
- 6 「ハグしてください」
- 7 「冬薔薇の記憶」

総会報告

平成二十五年六月八日(土)、植田町「ホテルアクセス」にて平成二十五年同窓会総会が開催されました。同窓生、旧職員の先生方など総勢五十一名にて盛大に執り行われました。

今回ご出席頂いた、詩人の後藤基宗子さんからは、詩集や作品展で用されたパネル、作詞された曲のCDなどを学校へご寄贈頂きました。現在は図書館や校内で活用させて頂いております。

その後の懇親会でも、旧職員として、阿部ヨシ先生、櫛田正行先生、小林延子先生にご参加頂き、たいへん賑やかな会とすることができました。
次年度の同窓会総会もより盛大に執り行い、役員会でも準備を進めていく所存です。多くの同窓生の方々のご出席をお待ちしております。



会長あいさつ



輪になって校歌斉唱



後藤さんより校長へ詩集等の寄贈

ご案内

日時 平成二十六年六月十四日(土) 午後六時

場所 やまたまや 懇親会 午後六時半 懇親会費 三,〇〇〇円

◎会則により、総会は、原則六月開催となります。
◎多数のご出席を心よりお待ちしております。

【今年度の生徒会活動】

- 4月10日 対面式・部活動紹介
- 4月11日 春の交通安全キャンペーン (マルト窪田店)
- 4月15日 委員会編成
- 4月17日 部活動協議会
- 4月22日 生徒防犯キャンペーン (マルト窪田店)
- 4月23日 生徒総選挙
- 4月25日 生徒総選挙
- 4月27日 第1回選手壮行会
- 5月2日 第2回選手壮行会
- 7月7日 夏の交通安全県民総ぐるみ運動 (マルト窪田店)



校内体育大会

- 7月18日 校内体育大会
- 7月28日 四時ダマまつり 運営補助 (四時ダマ)
- 9月9日 生徒役員所信表明演説会
- 9月25日 秋の交通安全キャンペーン (マルト窪田店)
- 10月5日 赤い羽根共同募金活動 (マルト中岡店)
- 10月7日 生徒役員任命式
- 10月26日 福島県立いわき養護学校「風と雲の祭り」運営ボランティア
- 10月28・29日 校内赤い羽根共同募金活動
- 11月2日 いわきシーサイドウォーク補助 (勿来海水浴場市営駐車場)
- 11月16日 J.Aまつり赤い羽根募金活動 (J.Aいわき)
- 11月21日 平成25年度「内閣府特命担当大臣表彰(国立オリンピックセンター)社会貢献賞」受賞記念式典
- 11月25~27日 台風30号緊急募金・支援活動
- 12月11日 年末年始交通安全防止県民総ぐるみ運動 (マルト窪田店)
- 1月17日 いわき地区生徒会 (勿来市民会館)

生徒会の活動

生徒会では、生徒会行事の運営とボランティアの二つを中心として活動しています。主な生徒会行事は生徒総会や校内体育大会などで、本年度からはエコキャップ活動もスタートしました。これはペットボトルのキャップを回収し、リサイクルした際の益金でポリオワクチンを購入する活動です。また、十一月のフィリピン台風被害への支援として、校内で衣服や義捐金を募る活動も行いました。



放課後の清掃活動

り、民間交番「関の子広場」の方々ボランティア活動を行っています。活動内容のほとんどは、駅のトイレ清掃やごみ拾いなどの地道な活動です。最近では、卒業までに一〇〇回以上ボランティアに参加する生徒もおります。



いわきシーサイドウォーク



エコキャップ回収活動



しどぎダマまつり



春の交通安全キャンペーン



「水俣に学びわきの未来を創るプロジェクト」に参加して

二年二組 中村美奈

私は、「れんげ国際ボランティア会」が主催となり、平成二十五年八月十九日二十四日に実施された、熊本県での研修ツアーに参加してきました。寺や民家での宿泊、語り部の水俣病についての学習、県知事表敬訪問など、五泊六日の研修の中心はとて濃かったです。

私は、水俣病については授業で少し触れたくらいで詳しいことは何も知りませんでした。また、もう水俣病は解決している問題だと、勝手に思い込んでいました。しかし、この研修で実際水俣病を体験

しても仲よくなりました。次の日から、Y-PLANという活動を中心として、本格的にプログラムが始まりました。これは、Youth・Plan・Learn・Act・Nowの頭文字を取ったもので、若者たちが自ら計画し、地域の街作り

TOMODACHIイニシアチブソフトバンクリーダーシッププログラムに参加して

二年二組 市川春菜

プログラム概要

日米両国政府が主導するTOMODACHIイニシアチブの趣旨に賛同した関係団体による、東日本大震災の被災地域の高校生を対象とするプログラム。夏休みの三週間を利用してアメリカ、カリフォルニア大学バークレー校でリーダーシップスキルと地域貢献について、グローバルな視点から学ぶ。

私は今回、「TOMODACHIイニシアチブ」に参加し、初めてアメリカに行くことができました。アメリカへの出発まで、不安や期待でいっぱいでした。カリフォルニア大学バークレー校に着いた時の最初の印象は、「本当に夏なの？」と思うほど肌寒かったことです。宿泊場所は、バークレー校の寮で、二人で一部屋でした。ルームメイトとは、同じ活動班ということもあってと

とも仲よくなりました。次の日から、Y-PLANという活動を中心として、本格的にプログラムが始まりました。これは、Youth・Plan・Learn・Act・Nowの頭文字を取ったもので、若者たちが自ら計画し、地域の街作り

とも仲よくなりました。次の日から、Y-PLANという活動を中心として、本格的にプログラムが始まりました。これは、Youth・Plan・Learn・Act・Nowの頭文字を取ったもので、若者たちが自ら計画し、地域の街作り

理科研究部

私たち理科研究部は、三年生三人、二年生五人、一年生三人の計十一人で活動しています。普段の主な活動は、蛭田川の水質調査、農作物の栽培、ホテル繁殖実験のための水槽の管理、夏と冬の合宿などです。

私たちが理科研究部は、三年生三人、二年生五人、一年生三人の計十一人で活動しています。普段の主な活動は、蛭田川の水質調査、農作物の栽培、ホテル繁殖実験のための水槽の管理、夏と冬の合宿などです。

蛭田川の水質調査では、色の変化で水質が分かるパックテストを用いて調査しました。結果、蛭田川の下流では、汚れに強いコイでも生息が難しいという数値になりました。今年度は、いわき光洋高校で開催された生徒理科研究発表会で、この調査結果を発表することができました。また、地域の方々に配布する『勿来高だより』の紙面で研究成果を掲載して頂きました。水質調査の結果を連載し、地域の方たちと協同で蛭田川の水質を改善できるように、今後も頑張りたいと思います。

農作物の栽培では、自分たちで色々な野菜を選んで、一から野菜を作り、作った野菜を調理して食べるなど、工夫しながら活動しています。原発事故のため土を入れ替えましたが、長ネギやサツマイモ



青竹から流しそうめん作り



水質調査 (蛭田川)



夏合宿 (裏磐梯・雄国沼)

などを美味しく作ることでできました。

夏の合宿では、二泊三日で磐梯山の麓の磐梯青少年交流の家に行きました。初日の夜はキャンプファイヤーの炎の前で、部員がそれぞれの意気込みを発表し、自分の目標を確認しました。二日目は裏磐梯の雄国山へ登りました。皆が頂上まで行けたわけではありませんが、合宿に行った皆で雄国沼を見たことがとても心に残っています。野外炊飯ではカレーを作るための火起こしに一時以上かかるといいうハプニングもありました。

来年度は新一年生も含め、チームワークをしっかりと発揮し、この理科研究部がより良い部になるように頑張りたいと思います。

卒業生の進路状況について

進路指導主事 坂口 肇

日頃より同窓生の皆様には、ご支援いただきまして誠にありがとうございます。

震災以降、県内卒業生の多くが県外の企業に就職しました。このことが県内の人手不足につながり、今年度も昨年度に引き続き県内、県外とも多くの求人を出されています。就職の内定状況は昨年度と同じ時期を上回る結果となつていきます。さらに、一度の失敗で諦めることなく、二度、三度と挑戦した生徒もおり、良い結果につながったのではないかと思います。内定後は、社会人としての心構えや常識ある行動について指導を行っております。また、未

登録し、一般求人への応募や、就職支援員の方と協力しながら求人開拓に努め、進路の実現に向けて支援を継続しております。

最後に、同窓生の皆様方には、今後も卒業生がさまざまな場面でお世話になると思っております。ご協力をお願い申し上げます。

進路状況

(平成26年2月19日現在)

卒業予定者	就職		進学				
	県内	県外	4年制大学	短期大学	専門学校	各種学校	
男子	28人	19人	2人	1人	0人	5人	1人
女子	27人	17人	1人	1人	3人	2人	

○内定企業名 (県内)

磐城造林(株)、(株)アドバンス、(株)ユニックス北関東工場、(株)花瀬セブンイレブンいわき中岡3丁目店、ライフクリエート(株)、(株)根本錦鉄筋工業所、クリナップキャリアサービス(株)、いわきエコ・パルプ(株)、(株)吉成木工所、加藤段ボール(株)いわき工場、(株)ケイアンドワイ、(株)勿来総合開発(勿来温泉関の湯)、サンコープリント(株)いわき工場、共力(株)、社団法人ハートフルなこそ、(株)サイチ商店、(株)油屋工務店、(株)いわき精機、(株)大宮国際ゴルフ場サラブレッドカントリークラブ、(株)レジャンス、社会福祉法人養生会かしま荘、(株)ボラリス、いわき中部農業協同組合、光メンテナンス、増山歯科医院、日総ニフティ(株)いわき介護部、合資会社大谷屋、(株)高崎クリーン、オリックス・ゴルフマネジメント、合同会社小名浜カントリー倶楽部、(株)八幡台やまたまや、(株)メディクルージャパン、(株)メディエンス(株)ジュリア小浜歯科医院、(株)錦武組

○合格学校名 (県外)

佐川急便(株)東日本支社、(株)松野屋、(株)ハートビル
○合格学校名
いわき明星大学、いわき短期大学、いわき中央福祉専門学校、国際ビューティ・ファッション専門学校、仙台コミュニケーション専門学校、水戸メディカルカレッジ、東京IT会計専門学校仙台校、wiZ国際情報工科大学校、専門学校ビジョナリーアーツ、いわきコンピュータカレッジ、Iwakiヘアメイクアカデミー



志望校に合格するまで

私は今回、いわき明星大学文学部表現学科に合格することができました。私は実を言くと、二年生の冬までこの大学に進学するか全くと...

私は将来、接客業に就きたいと思っており、特に受付業務をやってみたいと思っていました。また、私の伯父がゴルフ場で仕事をしております、昔からゴルフ場の仕事内容について聞いていました。話を聞いていたうちに、ゴルフ場の仕事に興味を持ち、見学をしてみたと思うようになりました。

私は受験の準備を始めたのは、夏休みの後半でした。私が準備で苦労したことは履歴書と面接練習です。履歴書で特に苦労したところは、志願理由です。働きたいという思いを論理的に文章にすることがとて難しく、何度も書き直した覚えがあります。

無事合格することができ、お世話になった先生方に報告すると、まるで自分のことのように喜んでくださいました。私は自分を応援してくださいました先生方や友人の気持ちを一忘れません。そして、これから精一杯大学で勉学に励みたいと思います。

その時、自分の好きなドラマのノベライズ本を読んでいました。ドラマと小説では表現の仕方が少し違うところがあると感じました。ではなぜ違うのか?その時、このこと

さっそく私はオープンキャンパスに行き、模擬授業なども受けてみました。先生の説明が分かりやすく、この大学なら自分の学びたいことが学べる実感を感じました。

いほうですが、その場で作った答えには一貫性がなく信憑性に欠けてしまっています。坂口先生が作った百の質問を利用して答えに一貫性ができるように何度も書き直し練習しました。

就職までの道のり

三年二組 石井晴夏



私は将来、接客業に就きたいと思っており、特に受付業務をやってみたいと思っていました。また、私の伯父がゴルフ場で仕事をしております、昔からゴルフ場の仕事内容について聞いていました。

私は受験の準備を始めたのは、夏休みの後半でした。私が準備で苦労したことは履歴書と面接練習です。履歴書で特に苦労したところは、志願理由です。働きたいという思いを論理的に文章にすることがとて難しく、何度も書き直した覚えがあります。

無事合格することができ、お世話になった先生方に報告すると、まるで自分のことのように喜んでくださいました。私は自分を応援してくださいました先生方や友人の気持ちを一忘れません。そして、これから精一杯大学で勉学に励みたいと思います。



「母校の近況」

教頭 山崎 元康

同窓会会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平成25年度は、74名の新生を迎え、全学年18名でスタートしました。

- 同窓会会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平成25年度は、74名の新生を迎え、全学年18名でスタートしました。部活動の主な活動状況は次の通りです。
(弓道部) 高校体育大会地区大会 団体(男子・女子) 予選敗退
(バスケットボール部) 高校体育大会地区大会 男子一回戦 勿来20-86 勿来工業 敗者復活戦 勿来56-69 四倉
(剣道部) 高校体育大会地区大会 男子一回戦 勿来37-124 光洋
(理科学研究部) 福島県高等学校文化連盟自然科学専門部 発表題目「蛭田川の水質調査」
(音楽部) 地区高校前期音楽発表会 出場
(茶道部) 上野地区高校演劇コンクール 上演作品「パヴァーヌ」 優秀第三席
(家庭クラブ) 平成25年度福島県高等学校家庭クラブいわき地区連盟研究発表大会 ホームプロジェクトの部 優秀賞 齋藤 羽蘭
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 4/13
(防犯啓発活動) (マルト窪田店) 4/3
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 9/13 20/11/8
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 7/17
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 7/28
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 7/28

- 同窓会会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平成25年度は、74名の新生を迎え、全学年18名でスタートしました。部活動の主な活動状況は次の通りです。
(バスケットボール部) 高校体育大会地区大会 男子一回戦 勿来20-86 勿来工業 敗者復活戦 勿来56-69 四倉
(剣道部) 高校体育大会地区大会 男子一回戦 勿来37-124 光洋
(理科学研究部) 福島県高等学校文化連盟自然科学専門部 発表題目「蛭田川の水質調査」
(音楽部) 地区高校前期音楽発表会 出場
(茶道部) 上野地区高校演劇コンクール 上演作品「パヴァーヌ」 優秀第三席
(家庭クラブ) 平成25年度福島県高等学校家庭クラブいわき地区連盟研究発表大会 ホームプロジェクトの部 優秀賞 齋藤 羽蘭
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 4/13
(防犯啓発活動) (マルト窪田店) 4/3
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 9/13 20/11/8
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 7/17
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 7/28
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 7/28

- 同窓会会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平成25年度は、74名の新生を迎え、全学年18名でスタートしました。部活動の主な活動状況は次の通りです。
(バスケットボール部) 高校体育大会地区大会 男子一回戦 勿来20-86 勿来工業 敗者復活戦 勿来56-69 四倉
(剣道部) 高校体育大会地区大会 男子一回戦 勿来37-124 光洋
(理科学研究部) 福島県高等学校文化連盟自然科学専門部 発表題目「蛭田川の水質調査」
(音楽部) 地区高校前期音楽発表会 出場
(茶道部) 上野地区高校演劇コンクール 上演作品「パヴァーヌ」 優秀第三席
(家庭クラブ) 平成25年度福島県高等学校家庭クラブいわき地区連盟研究発表大会 ホームプロジェクトの部 優秀賞 齋藤 羽蘭
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 4/13
(防犯啓発活動) (マルト窪田店) 4/3
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 9/13 20/11/8
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 7/17
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 7/28
(交通安全啓発活動) (マルト窪田店) 7/28

同窓会報協力金

協賛御礼

- 平成18年度より同窓会の皆様にお願ひ致しました「同窓会報協力金」ですが、本年度も多くの方々に御賛同をいただき、誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。
※25年2月から26年1月末に協力いただいた方を掲載させていただきます。
御協力者御芳名
昭和30年3月 正義
昭和31年3月 俊克
昭和32年3月 啓二・高橋 君江
昭和33年3月 松本好弘
昭和34年3月 三國 正義
昭和35年3月 好則
昭和36年3月 克明・川井 修昭
昭和37年3月 重利・油座 義隆
昭和38年3月 洋子・大坪 洋子
昭和39年3月 尚武・緑川 恵男
昭和40年3月 保・北郷 清一
昭和41年3月 長久保 博
昭和42年3月 小野 修
昭和43年3月 栗田実恵子 木村 裕子
昭和44年3月 大田原 保 永山 清
昭和45年3月 野野 敏文 金成 武夫
昭和46年3月 野野 賢
昭和47年3月 岡田 清和 佐藤 角子
昭和48年3月 大和田 廣子
昭和49年3月 安島 喜寿
昭和50年3月 片桐 仁子
昭和51年3月 田中 貞子
昭和52年3月 中 貞子
昭和53年3月 佐和 康雄
昭和54年3月 佐和 直樹
昭和55年3月 警前 都
昭和56年3月 警前 都
昭和57年3月 警前 都
昭和58年3月 警前 都
昭和59年3月 警前 都
昭和60年3月 警前 都
旧職員 小林 延子
平成25年度 同窓会長賞受賞者 (団体の部) 関の子ボランティア (個人の部) なし